

校長通信(第1号)

令和7年4月8日
東京都立田無高等学校
校長 長嶋 浩一

1 ごあいさつ

校長の長嶋浩一です。着任2年目になりました。

今年度、本校では、魅力ある学校づくりを推進するため、都の教育施策のうち、主に以下の4事業を活用します。

- 海外学校間交流推進校(オンライン等による海外の学校との交流、新規)
- 外部検定試験実施校(英検 S-CBT 方式の全員受験、新規)
- 西部学校経営支援センター特別指定校(学習指導の充実、指定2年目)
- 探究的な学び推進事業【TIPS-Type4】対象校(外部人材の活用、新規)

皆様におかれましては、本校の教育活動を温かく見守っていただくとともに、御理解・御支援の程お願い申し上げます。また、本校ホームページでも、随時学校の様子をお知らせしてまいりますので、御覧いただければ幸いです。



2 第1学期始業式 校長講話

皆さん、新しい年度の始まりです。新しい環境、新しい出会い、新しい挑戦の機会が皆さんを待っています。不安や緊張を感じるかもしれませんが、それは皆さんにとっての成長のチャンスでもあります。

大切なのは、一歩踏み出す勇気をもつこと、そして、自分の可能性を信じることです。

3年生の皆さん、いよいよ最終学年です。進路に向けた挑戦、自分自身との戦い、仲間との思い出づくりなど---この一年は、皆さんにとってきっと忘れられない時間になることでしょう。時には壁にぶつかることがあるかもしれませんが、大切なのは、「諦めない心」と一歩を踏み出す勇気です。努力はすぐに結果として現れなくても、必ず未来の自分を支えてくれます。この一年は、自分の可能性を信じ、自分を超越する飛躍の年にしてください。皆さんの努力が実を結び、素晴らしい未来へ繋がることを心から願っています。

2年生の皆さん、早くも高校生活の折り返し地点に来ましたね。2年生は、先輩としての自覚が生まれてきていることでしょう。また、進路についても考え始める大切な時期です。この一年は自分の可能性を広げるチャンスです。今の努力が来年の自分を大きく成長させます。勉強や部活動、学校行事など、やるべきことに全力で取り組みましょう。困難なこともあるかもしれませんが、一歩を踏み出す勇気が、皆さんの未来を変えていきます。焦らず、確実に、自分のペースで前に進んでいきましょう。

在校生の皆さんにお知らせがあります。

本校では、今年から「海外学校間交流推進校」の指定を受け、これまでの国際理解教育を更に発展させていきます。具体的な取組は、次のとおりです。

まず、都教育委員会の受験料補助を受け、皆さん全員に外部会場でコンピュータを使って一日で4技能の検査ができる、英検 S-CBT 方式の受験をしてもらいます。3年生は7月に、2年生は11月

の受験で調整を進めています。皆さんは3級、準2級、準2級プラス、2級、準1級のうち、希望する級の受験が可能です。

校内で実施していた従来型の英検については、今まで通り有料で希望者を対象として学校で受付し、5月31日に実施します。英検の受験により皆さんの英語力が客観的に証明され、多くの大学等の受験においても活用されています。今まで以上に、皆さんの英語力向上に力を入れていきます。

次に希望者を対象とした取組です。四点あります。

第一に、希望者を対象とした **Tokyo Global Gateway** での語学研修を実施します。昨年度は1日コースでしたが、今年度は半日コースで実施する予定です。

第二に、本校近隣の東京学芸大学や亜細亜大学等と連携して海外留学生との交流活動を行い、国際的な視野を広げていきます。

第三に、手紙やビデオレターを通じて海外の高校生と交流し、異文化理解を深めていきます。

第四に、訪日する高校生を受け入れ、直接交流する機会を設けます。

これらの取組には、皆さんの可能性を更に広げる効果があると確信しています。

最後に、皆さんの安全確保のための話をします。それは、自転車乗車時の「ヘルメット」着用についてです。

皆さんは自転車に乗るとき、風を感じるのが気持ちいいですよね。でも、その時に安全も忘れないでほしいと思います。例えば、ヘルメットを着けていたおかげで大きな怪我を防げたという話を聞いたことがありますか？実際にそういう事例はたくさんあります。逆に、ヘルメットを着けていなかったために、命を落したり、大きな怪我を負ったりしたという話もよく聞くことでしょう。

ヘルメットを着けることで、自分自身を守るだけでなく、家族や友達にも安心を与えることができます。自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着けましょう。これは皆さんの安全を守るための大切なルールです。

今年1年が、皆さんにとって有意義なものになるよう、私たち教職員一同、全力でサポートしていきます。共に素晴らしい一年を作り上げましょう。

3 第43回入学式校長式辞

春の訪れとともに、桜の花が美しく咲き誇るこの佳き日に、多くの御来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和七年度東京都立田無高等学校第43回入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。御臨席の皆様方に心より御礼申し上げます。

只今、呼名の在りました318名の入学を許可いたしました。新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんは厳しい入学者選抜を見事突破し、本校への入学を果たしました。今までの努力を称え、心から入学を歓迎いたします。

本校は、「田無市に都立高校を開設してほしい」という旧田無市民の熱い思いを受け、昭和58年に開校し、今年度、第43期生を迎えます。地域の皆様や諸先輩方の御協力・御支援を受け、これまでに12,458人が本校を卒業し、社会の各分野で活躍しています。

本校は、校訓として、叡智、敬愛、剛健、自律の4語を掲げています。

叡智とは、知性と創造力、敬愛とは、互いの人格尊重、思いやりと協力の精神、剛健とは、鍛え抜かれた身体と豊かな情操、自律とは、自らの正しい判断及び勇気と責任ある行動を指しています。

また、本校では、「高度な情報を管理する能力や自他を尊重し、社会に貢献しようとする意欲を有する人間」、「常に変化し続ける社会における様々な状況の中で、的確に状況を判断し、未来を切り拓く能力を身に付け、グローバルな社会で活躍できる人間」の育成を目指しています。

そのために、生徒一人一人のよさを認め、個性や能力を最大限に伸ばすこと、知識基盤社会を生きる学力を育成するとともに、学校行事や部活動等の諸活動を通して、「知」「徳」「体」の調和のとれた生きる基盤を培うこと、個に応じた指導により、変化の激しい社会を生き抜く思考力・判断力・表現力や創造力等を育てること、学校行事や部活動及び「人間と社会」などを通して、社会の一員としての自覚と行動力、社会の発展に貢献しようとする意欲を高めること、開かれた学校として、学校、家庭、地域・社会が一体となり、ともに生徒を育てていくことを意識した教育活動を展開しています。

新入生の皆さんには、次の三点を意識して学校生活を送ってみたいと思います。

第一に、「良き習慣を身に付ける」ということです。社会生活の基本となる、良き習慣の一つとして、「時を守り、場を清め、礼を正す」ということがあります。時を守るとは、遅刻をしない、学習時間を確保するなど。場を清めるとは、きちんと掃除をする、整理整頓をするなど。礼を正すとは、服装をきちんとする、挨拶をするなどです。「時を守り、場を清め、礼を正す」という社会生活の基本がきちんと出来て、良き習慣となるように日々努力していきましょう。

第二に、「思いやりの心をもつ」ということです。他人を思いやることは、自分を見つめ直すことにも繋がります。思いやりの心をもつことで、お互いに助け合う友達の輪ができます。そして思いやりの心は行動のエネルギーにもなります。本校で思いやる・思われる、何でも話し合える、そんな友達を見つけてください。高校時代の友達は、掛け替えのない一生の宝となります。

第三に、「何事にも積極的にチャレンジする」ということです。具体的には、学習・部活動・委員会活動等に積極的に参加することです。世の中には困難なこともたくさんあります。うまくいくこともそうでないこともあるでしょう。大切なのは、結果だけではなく、そこに至るまでのプロセスです。成功すれば、それは達成感や自信につながるでしょう。成功からだけでなく、失敗から学ぶこともたくさんあります。悔しい思いをし、二度とそのような思いをしないよう、考え、工夫し、改善を図っていく。まさにその過程こそが、将来皆さんが社会の中で生きていくのに必要な、「不撓不屈」の精神を身に付けることに繋がるのです。

保護者の皆様にも、お願いしたいことが三点ございます。

第一に、ご家庭のサポートです。高校では全校で一人一台端末を使用した学習を行っております。学校では様々な形で活用を図っておりますが、自宅での学習においても使用することがしばしばあります。ご家庭におかれましても、WIFI環境を整えてください。また、学校での学びを支えるために、家庭での学習時間確保のため、サポートをしていただきますようお願い申し上げます。

第二に、お子様とのコミュニケーションの時間の確保です。学校での出来事や連絡事項、将来の夢、スポーツ、文化、政治、世界情勢、趣味等、どんなことでも結構ですので、できるだけ多く、お子様と対話する時間を作っていただくということです。その際には、指示や注意をするだけでなく、大人になりつつある子供の気持ちや考えを受け止め、話し合うことに重点を置いた御対応をお願い申し上げます。

第三に、学校との連携です。学校との連携を密にし、必要な情報を共有してください。お子様の学習状況や健康状態について、学校に適時に御報告いただくことで、より適切な対応が可能になります。本日から、保護者の皆様と我々教職員は協働してお子様の教育に携わることになります。そのためには保護者の皆様と我々教職員との信頼関係を基盤とした連携が不可欠です。本校の教育方針についての御理解と御協力をお願いします。何かお気付きのことや心配事がございましたら、学校に御連絡をいただければ幸いです。

結びに、新入生の皆さんの充実した高校生活を願い、式辞といたします。

令和7年4月8日 東京都立田無高等学校長 長嶋 浩一

4 偉人の名言(その1)

優れた業績を成し遂げ、多くの人々から尊敬される「偉人」の言葉の中には、私たちが力をもらい、前向きになることのできる「名言」がたくさんあります。

今回は、著名な経営コンサルタントで教育者、著者であるピーター・ドラッカー氏の名言を紹介します。

【英語】

- 1 The most important thing in communication is hearing what isn't said.
- 2 Communication is not saying something; communication is being heard.
- 3 Effective communication is the responsibility of the communicator.

(by Peter Drucker, a renowned management consultant, educator, and author)

【日本語訳】

- 1 コミュニケーションで最も重要なのは、言葉にされていないこと(語られていないこと)を聞き取ることである。
- 2 コミュニケーションは何かを言うことではなく、聞かれる(相手に伝わる)ことである。
- 3 効果的なコミュニケーションの責任は、コミュニケーター(伝える側)にある。

※これらの考え方を学校での人間関係に生かしていく方法は・・・

積極的な傾聴

- クラスメートや先生の話に注意深く聞き、言葉の裏にある感情や意図を理解するよう努めましょう。
- 質問をすることで、相手の考えを深く掘り下げることができます。

明確なコミュニケーション

- 自分の考えや感情を明確に伝えることで、誤解を避けることができます。
- 重要なポイントを繰り返すことで、相手に確実に伝わるようにします。

フィードバックの促進

- クラスメートや先生からのフィードバックを求めることで、コミュニケーションの効果を確認できます。
- フィードバックを受け入れ、必要に応じて自分のアプローチを調整しましょう。

共感の表現

- クラスメートや先生の感情や視点に共感することで、信頼関係を築くことができます。
- 共感を示すことで、相手が安心して話せる環境を作り出します。